



国際ロータリー第2840地区 2016-2017 年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

RID2840 / GUNMA JAPAN / 2016-2017

To Rotary club presidents and secretaries

THE ROTARY FOUNDATION



人類に
奉仕する
ロータリー

水と衛生月間



2017. **3.1**
Vol.9



目次

平成 29 年 3 月号

ガバナーメッセージ	1
会員組織強化・女性ネットワーク合同会議報告	2
2017年 国際協議会報告	3
地区チーム研修セミナー開催報告	5
富岡かぶらRC 国際奉仕活動のご紹介	7
ロータリーちびっこコンサートのお知らせ	8
米山記念館便り	10
ハイライトよねやま	11
新入会員紹介	13
文庫通信	14
出席報告	15
ガバナー事務所よりお願い	16

「水と衛生月間」に因んで

国際ロータリー第 2840 地区ガバナー 豊川 一男

2014 年 10 月 RI 理事会は、重点分野が「水と衛生月間」である 3 月を、地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善、持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域住民が行っていくための能力向上、安全な水と衛生の重要性について、地域住民の認識を高めるためのプログラム支援、水と衛生に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間とした。

私達の日本には、「湯水の如く」という言葉があります。この言葉は水が豊富にあることの形容ですが、地球上の水の現状は 14 億 k m³の 97.5% は海水 2.5% が淡水です。そのうち、1.76% が氷河・0.76% が地下水・川河湖沼が 0.01% です。

人類が使用できる水は、地下水のほんの一部と川河湖沼が水源です。

日本は国土の 66% が森林で、そこに年間 1700 mm 以上（世界で 3 位）の降雨量がありますから過去には水資源に困窮することはありませんでしたが、近年人口増加に伴い水資源の利用の範囲が広がり水不足の期間が発生するようになりました。

それでも、まだまだ豊富な水資源の恩恵にあずかっています。

世界では、約 9 億人の人々は降雨量が少ない地域に住み、地下水利用するための資金がなく「透明な水」を飲料水に利用できません。この人々は、石鹸で手洗い等、清潔な日常生活を送ることが困難な上、清潔なトイレとは無縁な野外排せつを余儀なくされています。

野外排せつは、排せつ物が降雨により飲料水に悪影響を与えるばかりでなく、乾燥により粉塵となり、動物・昆虫等が媒体となることで感染症を広げ、免疫力の低い子供たちが年間 300 万人以上死亡しています。

国連は 1992 年に 3 月 22 日を「世界水の日」に定め様々なプログラムを実施しています。

「人類に奉仕する」リーダーのロータリアンは、「人類に最も重要な水資源の確保と汚染されない飲料水の提供プログラムの実践」さらには「人類の将来に重要な衛生の向上」の為、地域に合わせたトイレの供給プログラムを実施することで、「水と衛生」にかかわる様々な問題解決に向かって「奉仕の実践」を積み上げましょう。

私の好きなポール・ハリスの名言

奉仕の真の精神は、世界を救済することができます。

(ロータリアン誌、1918 年 3 月号)

A true spirit of service is capable of working a world' s redemption.

(The Rotarian, March 1918)

第2回会員組織強化・女性ネットワーク合同委員会報告

国際ロータリー第2840地区2016-17年度

1月28日(土) 12:00~15:00 会場:前橋問屋センター会館に於いて、第2回 会員組織強化・女性ネットワーク合同委員会が開催されました。

豊川一男ガバナーのご挨拶、つづき、会員組織強化委員長安藤震太郎パストガバナー、女性ネットワーク委員会アドバイザー 疋田博之パストガバナー、望月和子女性ネットワーク委員長にご挨拶を頂きました。

次に、ガバナー補佐現況報告が行われました。第1分区 佐藤信一ガバナー補佐の報告から始まり、第2分区A 阿左美博ガバナー補佐、第2分区B 赤堀賢二ガバナー補佐、第3分区 市川豊行ガバナー補佐、第4分区A 星野正義ガバナー補佐、第4分区B 宮内敦夫ガバナー補佐、第5分区 岸権三郎ガバナー補佐、第6分区 大塚慶甫ガバナー補佐、が会員増強維持に関するアンケートに基づいての報告と、ガバナー補佐 クラブ訪問での各クラブの報告と意見等をまとめた報告がなされました。つづきまして、女性ネットワーク委員現況報告が行われました。第1分区 望月和子委員長の報告から始まり、第2分区 小林博子委員、第3分区 関口啓子委員、第4分区 北澤恵美子委員、第5分区 望月和子委員長、第6分区 中嶋千香子委員、より 各分区の女性会員の推移や入会予定の数、各クラブにおける女性会員の活動状況の報告が行われました。休憩を挟み、竹内正幸会員組織強化副委員長にリーダーを、お願い致しまして、出席者全員による意見交換が行われました。

<出席者意見交換>

○各クラブは、それぞれ目標を持っているので、ガバナー補佐を中心として、更なる会員増強を行う。 ○女性会員増強に伴う弊害として、配偶者の問題がある。会員の配偶者を準会員として扱ってはどうか、女性会員の退会防止になるのではないかと。 ○外国では、夫婦で同じクラブで活躍している会員も居る。外国と日本の文化の違いが有り、また、国により大きな違いが有る。○会員増強は、1、若い会員増強 2、女性会員増強 が必要である。時代は変わる、各クラブが若い人をターゲットに会員増強しなければ、クラブが衰退してしまう。 ○ロータリークラブは、各クラブそれぞれ魅力が有るが、何が何でも我がクラブに・・・で無くても良いのではないかと。 分区内でのネットワークが必要。 ○各クラブは、会長だけでなく、パストガバナー、地区役員、地区役員経験者にお願いして、ロータリーの精神、ロータリーの良いところを広め伝える必要がある。 ○会員数の少ないクラブは、合併しなくても、分区でガバナー補佐を中心として、会員増強やクラブ合同などを活用して、活動してはどうか？

<まとめ> 豊川ガバナー

データを分析すると見通しが良い部分がある。それに反し、会員増強を考えて無いと判断ができるクラブがある。ガバナー補佐は、会員増強は、大切な事であると伝えて頂きたいと思っている。

<まとめ> 望月委員長

女性を勧誘するのに難しい面がある。“柔軟性”を上手に起用して行かないと難しいのではないかとと思う。

・上記、まとめて頂き、閉会しました。



2017 年国際協議会報告

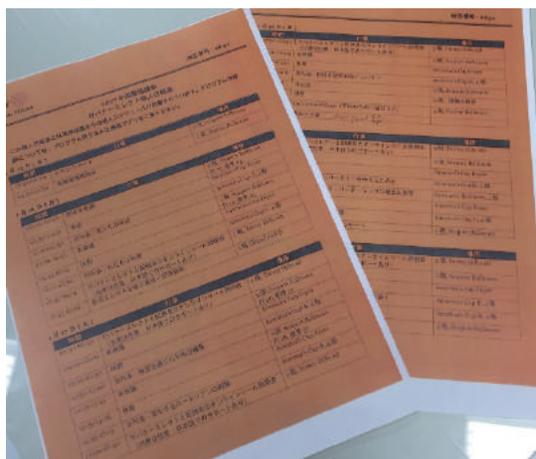
ガバナーエレクト 田中 久夫

この度、米国カリフォルニア州サンディエゴにおいて行われたロータリー国際協議会に参加させていただきました(2017.1/15～1/22)。参加者は、国際ロータリーの役員、研修リーダー(日本からは3名、第1ゾーン第2500地区足立功一リーダー、第2ゾーン第2580地区櫻井権司リーダー、第3ゾーン第2720地区木下光一リーダー)、全世界539地区のガバナーエレクトとそのパートナー達でした。

15日の午後、会場となるマンチェスター・ハイアット・ホテルに到着した際、日本を代表する元RI会長田中作次氏、RI理事斉藤直美氏、同エレクト石黒慶一氏などの歓迎を受け、さっそく登録が行われ、1週間の協議会が始まりました。

その晩は、すべての参加者が国旗を先頭にして国別にアルファベット順に会場に入場しましたが、日本のメンバーは浅草にて設えた揃いの法被でその列に加わりました。

その後、国際晚餐舞踏会が催され翌日からの緊張をほぐす、いや嵐の前の静寂のひとときを楽しみました。



翌16日からは、第I部(午前)、第II部(午後)ともに最初の時間帯において、大会場にガバナーエレクトとそのパートナー達(約1,000名)が集められ、本会議(約75分)が行われました。その本会議では、毎回違ったテーマ(会員増強、公共イメージ戦略、ロータリー財団等)でのRIからの通知・通達が行われ、それをもち寄って次の時間帯は日本からのGEを2部屋に分けての分科会(研修リーダーがDLを務めての討論会・約90分)が行われるという型式でした。GEのパートナー達も別室にて研修リーダーの奥様達によるロータリーについての勉強会を行っているようでした。

私は、当地区でのRLIセミナーの経験が生き、比較的余裕を持って分科会に臨めていたように自負しています。今後、ロータリーの理解のために当地区ではRLIセミナーの対象者を増やしていくことが必要だと感じました。

16日の最初の本会議では、この国際協議会のハイライトであるRI会長エレクト、イアン・ライズリー氏による2017-2018年度のRIテーマが発表になりました。

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE (ロータリー : 変化をもたらす)

2017 年国際協議会報告

ガバナーエレクト 田中 久夫

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE (ロータリー : 変化をもたらす)

この意味するところは人によって諸説があるようですが、私はロータリーおよびロータリアンの存在自体が社会に良い変化をもたらす、そのためには行動が必要であって、今後も時代の要請に適応してロータリーも柔軟に変化していかなければならない、というロータリーの発展、維持にとってある種の危機感を感じさせるものでした。

そのほか、英語のスピーチでは、しきりに sustainability、diversity、action、integrity などの語彙が聞こえていました。

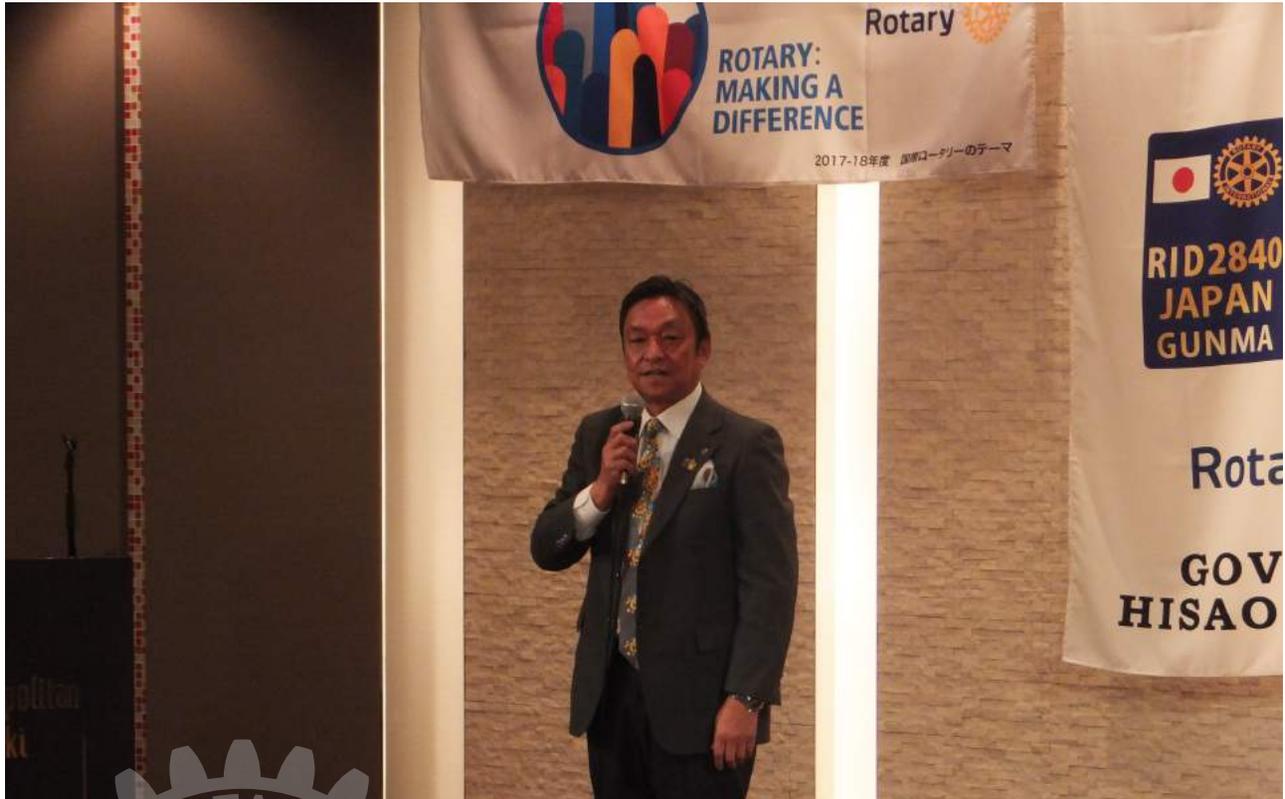
17 日以降も、基本的には午前、午後の本会議、それを受けての分科会という型式は変わらず、5 日間びっしりと研修を行ってきました。

息抜きになったのは、昼休みの時間を使つての空母ミッドウエーの見学、キング牧師の石碑見学、24 時間営業のスーパーでの買い出し、18 日（水）の夕飯で日本人経営の極上の寿司店に行ったことくらいでした。

自分の名刺とバッチ、簡単な日本製のお土産（扇子）は 200 個ほど持っていきました。せっかくの機会ですので、諸外国の GE 達との名刺交換を積極的に行い、今後の友人作りに役立ったような気がします。これから、交換した名刺の整理をして、諸外国の GE 達と連絡を取り、新たな関係を構築していきたいと思います。

研修も終盤になってくると、日本人の 7 割くらいの方が体調を崩されていきました。それでも会議には欠席できないので、皆なんとか頑張り抜いておりました。一方、私と家内はまったく平穩無事に過ごしておりました。最終日、22 日にはサンデイエゴからの直行便にて成田空港に入りました。その便の中でいよいよ体調を崩され、成田空港から救急車で病院に直行した GE の奥様がおりました。大変な研修が終わり、これから地区の方々にとどのように RI からのメッセージを的確に伝えていくのが課題になりました。

なお、2018 年 6 月 24 日～ 27 日において、カナダのトロントで国際大会が開催されます。今回の国際協議会において、私は当地区から 60 名を伴って参加することを RI 会長エレクト、イアン・ライズリー氏に約束してきました。是非、皆さんの参加をお願いいたします。



地区チーム研修セミナー報告

国際ロータリー第2840地区 2017-2018年度

地区副幹事 阿久澤 嘉一

2月5日(日)田中ガバナーエレクト年度の公式行事である「地区チーム研修セミナー」が約60名参加で、ホテルメトロポリタン高崎にて開催されました。田中ガバナーエレクトよりサンディエゴでの国際協議会の報告と2017-18年度国際ロータリー年次テーマ「ロータリー:変化をもたらす」と地区基本方針が発表され、参加者の皆さんによる活発で前向きな意見交換ができ、田中年度のよいスタートが切れました。以下、当日のスケジュールです。



地区チーム研修セミナー報告

国際ロータリー第 2840 地区 2017-2018 年度

地区副幹事 阿久澤 嘉一

第 I 部 研修セミナー

司会 地区副幹事 阿久澤 嘉一

13:30 ~ 14:00	登録・受付		
14:00 ~ 14:05	開会挨拶	ガバナーエレクト	田中 久夫
14:05 ~ 14:10	本日の目的について	地区研修委員長	本田 博己
14:10 ~ 15:00	国際協議会報告	ガバナーエレクト	田中 久夫
	国際ロータリー年次テーマ		
	地区基本方針発表		
15:00 ~ 15:20	地区組織運営について	地区幹事	広瀬 雅美
	地区予算案について	地区会計長	上野 正人
15:20 ~ 15:30	休憩		
15:30 ~ 16:20	チームディスカッション	地区研修委員長	本田 博己
16:25 ~ 16:45	PETS・SETSの準備について	地区幹事	広瀬 雅美
	分科会について	地区研修委員長	本田 博己
16:45 ~ 16:50	まとめ	(直前) ガバナー・地区研修委員長	豊川 一男
16:50 ~ 16:55	閉会挨拶	ガバナーエレクト	田中 久夫

第 II 部 懇親会

司会 地区副幹事 市川 誠二

17:05 ~ 17:45	挨拶	ガバナー	豊川 一男
	挨拶	ガバナーエレクト	田中 久夫
	乾杯	パストガバナー	牛久保 哲男
	懇談		
	中締め	パストガバナー	清 章司



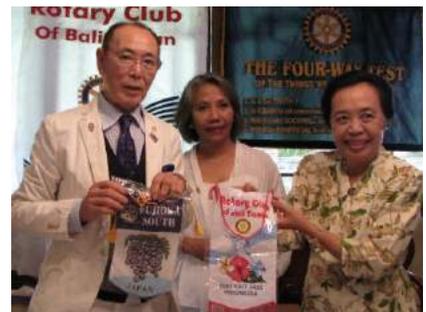
国際奉仕活動のご紹介

富岡かぶらロータリークラブ

富岡かぶらロータリークラブ 高橋 邦彦

富岡かぶらロータリークラブは、2007 年からインドネシアの自然環境の保護を目的に植林活動を 7 回実施し、2016 年から人道支援を目的に「貯水槽プロジェクト」をスタートし、本年で 2 回目となりました。

この人道支援は、偶然から始まりました。2015 年ジャワ島で植林に参加し、バリ島の RID3420「バリタマンロータリークラブ」を我がクラブと豊川一男ガバナー（当時エレクト）が訪問した際、このクラブからも同じ 2016-2017 年度にガバナー（NYOMAN NILAWATI）を排出する偶然に驚きました。次年度は何か支援をしましょうと二人の話はとんとん拍子に決まり、バリタマン RC が貯水槽を 100 基造ることを目標としていることを聞き、支援することになりました。豊川ガバナーと富岡かぶら RC で 2 基造ることになり、2016 年に寄付金を届け、5 月には完成しました。これも、ロータリーが世界的な組織で奉仕活動をしていて、ロータリアンの繋がりで誰でも参加できることを実感しました。



2017 年 2 月 14 日バリ島を訪問し貯水槽 2 基の譲渡式を行いました。BANGLI 県 SUTER 村の IWAYAN NYEPEL 村長、RID3420 NILAWATI ガバナー、バリタマン RC VONNY 会長ほか 19 名、我がクラブ 5 名が参加し盛大に行いました。また、新たに貯水槽を 1 基造るための寄付金を贈呈しました。

村長の話では、この村だけで 525 世帯、2000 人が暮らしていて、水は 80%雨水を使っているそうです。乾季には全く雨が降らなく貯水槽が頼りになるそうです。この貯水槽で 10 世帯が生活できるそうです。まだまだ支援が必要とお願いされました。RID2840 の支援を願いたいと考えます。1 基の制作は 15 万円です。



2017 年 10 月～ 2018 年 2 月にバリ島を訪問し、1 基分の譲渡式と次の寄付金を持参する予定です。クラブでの参加をお待ちしています。

ロータリー

ちびっこ

コンサート



2017

4/2^①



前橋市

生涯学習センター

開場 14:30 ~

開演 15:00 ~

あつまれ 「ロータリーちびっこコンサート」

子供は小さい時より音楽に触れあうと想像力や表現力を高め感性を豊かにするといわれています。

私達、「国際ロータリー第2840地区(群馬)」の女性ロータリアンの集い「地区女性ネットワーク委員会」は、地域の宝「小児」に本物の音楽や楽器に触れ合い、聞いて、見て、感じて「音を楽しみ・遊び・学び」体験する機会を「プロの奏者5名」にご指導をお願いして、「ロータリーちびっこコンサート」を開催することが出来ました。

ぜひ、お誘い合わせの上、遊びに来てください。

主催：国際ロータリー第2840地区「女性ネットワーク委員会」



国際ロータリー第2840地区(群馬)

2016~2017年度 ガバナー 豊川 一男

地区女性ネットワーク委員会

委員長 望月 和子



豊川ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町 2-2 前橋問屋センター会館 1F

TEL:027-212-2840

出演者



中條 秀記
(フルート)



松本 花菜
(ヴァイオリン)



市川 哲郎
(コントラバス)



日垣 歩美
(ピアノ)



奈波 和美
(ファゴット)

プログラム

- ♪ シュトラウス / ポルカ「観光列車」
- ♪ ブラームス / ハンガリー舞曲 第5番
- ♪ 楽器紹介コーナー 各楽器の説明、クイズなど
- ♪ みんなで歌おうコーナー 幸せなら手をたたこう
- ♪ 森の音楽家 となりのトトロより「さんぽ」



群馬県生涯学習センター案内

■ 前橋 IC から

前橋出口から東方向へ3つ目交差点を
右折し直進5Km (道路案内板あり)

15分、左側

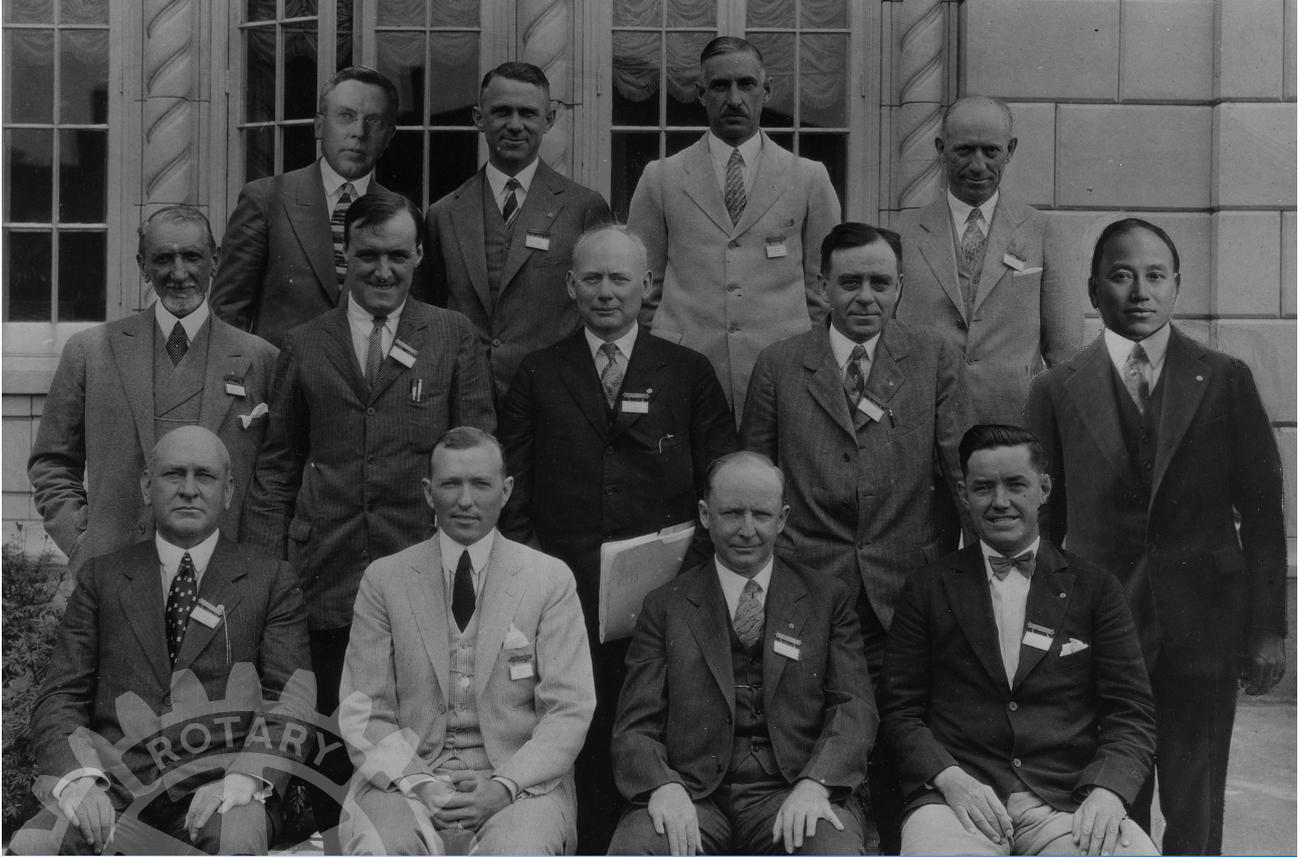
〒371-0801

群馬県前橋市文京町二丁目20番22号

TEL 027-224-2700 (代表)

FAX 027-221-5000

<http://www.manabi.pref.gunma.jp/gllc/>



米山梅吉記念館便り

3月号 米山梅吉の横顔

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑦ 米山梅吉の横顔

米山梅吉が社長を務めた三井信託株式会社は大正13年3月創業です。当時、信託は馴染みが薄かったのですが、信託業は預けた人のために預かったものを管理運営して利益を還元する奉仕(サービス)であるとお考えだったようです。

当時の思い出として後に信託の社長になられた林賢材さんは「信託会社は営利会社ではあるが、サービスを主眼とせねばらぬと度々諭された。後年三井報恩会の理事長として幾多の社会事業を育成されたことを思い、米山さんは社会事業家としても有数の方であった」と書かれています。三井信託での10年間を終え、66歳から三井報恩会の理事長に就任しました。



三井信託銀行社長当時、米山梅吉が使用していた机と椅子(三井信託銀行)現在は米山記念館ロビーにあります。

春季例祭 | 平成29年4月22日(土) 午後2時～ 式典／講演会
ご案内 | 米山梅吉記念館 登録料無料 アトラクションあります。多くの皆様ご参加ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
 TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
 URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
 Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時
 【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)

米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
 本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。





ハイライトよねやま 203

2017年2月13日発行

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 下期の寄付状況 —

1月までの寄付金は前年同期と比べて5.6%減（普通寄付金2.6%増、特別寄付金9.8%減）、約6,100万円の減少となりました。前年度と比較すると減少額は大きいですが、累計金額としては直近5年間のほぼ平均額となります。

1月は普通寄付金（クラブで決定した金額×会員数分でお送りいただく定期寄付）下期分の納入が主になります。今年度は1月末までに全クラブの76%、1,718クラブから納入いただきました。引き続きご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

2017学年度米山奨学生の選考を全地区で実施

2017年4月採用の新規米山奨学生の面接選考が12月から1月末にかけて、全国34地区の各選考委員会によって行われました。指定校からの申込者1,358人のうち、学部・修士・博士課程奨学金と地区奨励奨学金を合わせた586人（枠）が合格予定です。現在まで報告を受けた合格者の出身国・地域は、中国、ベトナム、韓国、台湾、モンゴル、マレーシアなどが多くなっています。

今後、他の奨学金合格等による辞退・繰上げによって、人数と国籍の変動が見込まれます。このほか、現役奨学生の延長制度であるクラブ支援奨学金には2人が合格しました。海外からの個人直接応募制度の海外応募者対象奨学金、および、海外学友会推薦奨学金は現在選考中です。2017学年度の奨学生数は、新規合格者と昨年度からの継続奨学生を合わせた780名（枠）となります。

副理事長就任のお知らせ



前副理事長、杉谷卓紀氏（玉名RC）のご逝去に伴い、当財団規程に基づき、役員候補者指名委員会で副理事長候補者を選任し、理事会にて承認されました。

2017年2月1日付で、^{はなわ} ^{はるお} 堀 東男氏（第2820地区 笠間RC、現常務理事）が公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 副理事長に就任しましたことをお知らせいたします。

貧困学校支援プロジェクトを実施 — タイ米山学友会 —

タイ米山学友会が1月21日、タイ国中部のスパンブリー県にあるワットブングカー学校を訪問し、「貧困学校支援プロジェクト」を実施しました。参加者は、タイ米山学友会の会員12人と、その家族・友人ら、合わせて28人。ワットブングカー学校からは、教職員4人と、児童40人が参加しました。

当日は、タイ学友会の会員をはじめ、企業や一般の方からの支援で集まった、現金や文房具、制服、スポーツ用品など、勉強と生活に必要なものが児童たちに提供されました。また、参加者は、児童たちと一緒にゲームをしたり、お菓子やアイスを食べたりして、交流を楽しみました。

タイ米山学友会幹事のワシン・テイシャチャイニランさんは、「勉強する環境に困ることなく、子どもたちの輝く未来を願っています」と、活動に参加した学友たちの思いを報告してくれました。



スリランカ米山学友会が第1回総会を開催

スリランカ米山学友会の第1回総会が1月7日、コロンボ郊外のマハラガマで開催され、ラクナース・ガマゲ会長（1993-95/宇部西RC）をはじめ学友7人が出席しました。

総会では1年間の活動報告のほか、今後の総会開催時期について検討がなされました。また、幹事長補佐をつとめるサマンタ・テリッジヤゴダさん（2000-01/羽島RC）が、学生に向けたIT関連セミナーを行うことが決まりました。これは、日本留学で得た知識をスリランカの若者へ伝えていきたいという、学友会としての活動提案です。

このほか数人の学友が役員に任命されました。

ラクナース会長は、居住地が離れているなどの理由で学友が集まりにくい実情をふまえたうえで、「われわれの学友会の価値を高め、より魅力的な存在となるために、今いるメンバーのさらなる努力が必要だ」と訴え、「個人レベルではなく、学友会という組織だからこそできるような活動をやっていこう」と、熱心に呼び掛けました。

創立1周年を迎える今年6月には、記念式典を開くとのことです。



第2620地区学友会がスリランカの子どもに文具寄贈

第2620地区（静岡県・山梨県）米山学友会では、副会長のペレーラさんの提案で、彼の母国スリランカの子どもたちに文房具を寄贈する奉仕活動を企画。学友会会員のほか、ロータリークラブや個人などから合計22万円の寄付を集め、それを元に129人分の文房具セットと鍵盤ハーモニカなどの楽器、図書館の図書908冊を購入し、現地の小学校に寄贈しました。

1月13日にスリランカ北部エリヤーワ村の小学校で行われた贈呈式には、同学友会役員4人と学友会に関わりの深いロータリアン2人を合わせ計6人が出席。一行は、全校生徒と先生、多くの村民から温かな歓迎を受け、贈呈後、生徒たちからお礼の言葉と歌が贈られました。また、その前日夜には、スリランカ米山学友会のラクナース会長ら3人のメンバーが駆け付け、国を超えた学友会同士の交流も実現しました。

第2620地区米山学友会の篠原暁恵会長は、「今回、スリランカの地方では、子どもたちに必要な文具や図書がとても不足していることを知りました。参加した役員全員、機会があれば、この有意義な事業を続けたいと思っています」と語りました。



新会員紹介

国際ロータリー第 2840 地区 2016-17 年度



氏名 後藤 彰
クラブ 高崎南
入会日 2017年1月10日
職業分類 サービス業
勤務先 WAST
役職 取締役
推薦者 今井宏一 竹内一普



氏名 平井 優一
クラブ 太田中央
入会日 2017年1月13日
職業分類 弁護士
勤務先 千の扇法律事務所
役職 代表弁護士
推薦者 大谷 祐三



氏名 須賀 桂寿
クラブ 富岡
入会日 2017年1月18日
職業分類 自動車販売
勤務先 (有) 須賀モータース
役職 代表取締役
推薦者 湯井 知昭



氏名 森田 一也
クラブ 前橋南
入会日 2017年1月18日
職業分類 建設業(設備)
勤務先 (有) 総設工業
役職 代表取締役
推薦者 田嶋 宏樹



氏名 佐藤 弘之
クラブ 高崎
入会日 2017年1月25日
職業分類 設計事務所
勤務先 (株) HIRO 建築設計
役職 代表取締役
推薦者 田中 久夫



氏名 秋山 哲也
クラブ 渋川
入会日 2017年1月26日
職業分類 畳工事業
勤務先 (有) 秋山畳工店
役職 代表取締役
推薦者 永井 勇



氏名 西目 勝則
クラブ 伊勢崎南
入会日 2017年2月7日
職業分類 電気工事業
勤務先 西目電設(有)
役職 代表取締役
推薦者 堀越 宏



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

忘れ得ぬロータリアン (3)

- ◎「ロータリーの黎明 ポール・ピー・ハリス」 宮脇 富 1967 3p
- ◎「第1号ロータリークラブ誕生 シルベスター・シール」 宮脇 富 1967 3p
- ◎「ロータリーと歌 ハリー・ラッグルス」 宮脇 富 1967 3p
- ◎「ラッグルスの回顧録」 宮脇 富 1967 3p
- ◎「冒険と挑戦 チェスリー R・ペリー」 宮脇 富 1967 3p
- ◎「ロータリー定礎の三人」 塚本義隆編 大阪 R.C 1979 42p
- ◎「献身的ロータリアン群像」 松本兼二郎 1979 8p
- ◎「我が自叙伝」 ハーバート J. テーラー著；菅野多利雄訳 1990 219p
- ◎「ロータリー財団の父 アーチ C. クランフの人となり」 鳴海淳郎 2000 9p
- ◎「奉仕理念の提唱者 アーサー・フレデリック・シェルドン」 田中 毅 2002 85p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



出席報告

2017年1月

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
46	2,058	2,094	2,104	10	133	80.98

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分 区	前橋	4	69.97	118	116	117	1	10
	前橋西	3	84.91	56	58	59	1	5
	前橋東	3	93.40	60	58	58	0	5
	前橋北	3	95.04	69	75	74	-1	4
	前橋南	3	98.25	32	37	38	1	1
	前橋中央	3	88.46	28	29	29	0	7
	合計		88.34	363	373	375	2	32
第2分 区 A	桐生	3	72.26	67	67	67	0	6
	桐生南	3	69.33	25	25	25	0	1
	桐生西	4	93.54	61	59	59	0	5
	桐生中央	3	78.33	22	21	21	0	3
	桐生赤城	4	83.93	44	44	44	0	8
	合計		79.48	219	216	216	0	23
第2分 区 B	伊勢崎	3	86.80	79	83	85	2	4
	群馬境	3	95.87	21	24	24	0	1
	伊勢崎中央	3	82.72	80	84	83	-1	3
	伊勢崎南	3	78.57	28	28	28	0	1
	伊勢崎東	3	88.89	31	33	33	0	2
	合計		86.40	239	252	253	1	11
第3分 区	高崎	4	85.16	117	117	117	0	10
	高崎南	4	71.58	65	68	69	1	7
	高崎北	3	76.27	68	65	65	0	0
	高崎東	3	83.33	38	40	40	0	1
	高崎シンフォニー	3	77.78	42	42	42	0	4
	高崎セントラル	4	65.73	37	36	36	0	0
	合計		76.64	367	368	369	1	22

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第4分 区 A	太田	3	87.67	71	73	73	0	3
	太田西	3	89.57	17	17	18	1	2
	太田南	3	85.50	43	47	47	0	2
	新田	2	88.89	17	19	18	-1	0
	太田中央	4	84.05	54	57	58	1	3
	合計		87.14	202	213	214	1	10
第4分 区 B	館林	4	84.50	50	50	50	0	2
	大泉	3	81.40	33	33	33	0	3
	館林西	3	71.21	22	22	22	0	1
	館林東	4	69.56	24	23	23	0	3
	館林ミレニアム	4	93.99	26	27	27	0	0
合計		80.13	155	155	155	0	9	
第5分 区	渋川	3	89.55	58	60	61	1	5
	沼田	4	60.60	67	71	71	0	1
	草津	2	55.26	19	19	19	0	1
	中之条	3	84.64	21	21	21	0	1
	沼田中央	4	69.45	59	53	55	2	4
	渋川みどり	4	74.77	38	38	38	0	2
合計		72.38	262	262	265	3	14	
第6分 区	富岡	3	88.66	46	46	45	-1	4
	藤岡	3	80.13	52	53	53	0	3
	安中	4	61.45	44	45	48	3	2
	藤岡北	3	88.36	16	17	17	0	1
	富岡中央	4	92.49	39	39	39	0	1
	碓氷安中	3	80.00	10	10	10	0	0
	藤岡南	3	71.74	17	18	18	0	1
	富岡かぶら	4	72.22	27	27	27	0	0
	合計		79.39	251	255	257	2	12

ガバナー月信に関して

- 原稿の締切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付しガバナー事務所 toyokawa@rid2840.jp まで送信してください。写真等の画像がある場合は、JPEG データでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締切りは毎月 15 日です。(15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。) 新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。
- この月信の PDF データを印刷して、クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。よろしくをお願いいたします。

表紙の写真 「高山社跡」

所在地 群馬県前藤岡市高山 237

見学 休館日: 12月28日~1月4日、団体は要予約
問合せ 藤岡市文化財保護課 TEL 0274-23-5997

「高山社跡」は、世界遺産『富岡製糸場と絹産業遺産群』の構成資産のひとつであり、国指定史跡です。高山社跡は「養蚕改良高山社」の創始者・高山長五郎(生没年 1830~1886)の生家で、養蚕法「清温育」の研究と社員への指導を行っていた場所です。

長五郎は明治6年(1873)「養蚕改良高山組」を組織し、自宅で養蚕法の改良と組員への指導を行いました。明治17年(1884)には「養蚕改良高山社」と改称し初代社長に就任しています。その後、教えを請うものが増えたため明治20年(1887)に藤岡町に事務所と伝習所を移し、自宅は高山分教場として後進の指導を続けました。

現在は蚕室(養蚕用家屋)と付属屋が残っておりますが、周囲にも蚕室の痕跡が認められるため、現存する建物だけでなく敷地全体が世界遺産構成資産、また、国指定史跡となっています。



正面の道路は、ジョギングや自転車で走るには最適な道になっています。是非、さわやかな1日をこの場所でお過ごしください^^



国際ロータリー第 2840 地区 ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F

TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841 email : toyokawa@rid2840.jp